

新城市民病院の研修を通して、研修している病院のみでは経験できないさまざまな経験をさせていただきました。主に初診外来、救急外来、病棟業務などをやらせていただきました。

初診外来では初診できた患者に対して検査、入院、治療、退院と一連の経過を経験することができました。いままで初診できた患者さんへの問診や身体所見に関してフィードバックをえることはほとんどなく、問診や身体所見に関してなおざりにしていました。今回これらの患者さんにたいして何を聞き、どのような身体所見が有用かをフィードバックしていただき、問診や身体所見の大切さを学ばせていただきました。

また、普段研修病院でみることがない高血圧、高脂血症、糖尿病、高尿酸血症、健診異常に対しての外来での対応を経験できました。食事や運動療法を勧めるか薬物治療を行うかの適応、薬物治療になったときどんな薬を使えばよいのか、患者への動機づけなどを勉強させていただきました。高血圧や脂質異常症などは非常にコモンな疾患ですが、研修病院では勉強してこなかった分野でした。これらの分野について学べ、これらの処方についての見方が変わりました。

病棟業務では指導医の宮国先生につきさまざま症例に対して経験させていただきました。指導医の宮国先生と入院で担当している患者さんに対してどのような検査や治療を行うべきかという議論や症例に対するフィードバックなどをしていただき、さまざまな分野の内科的疾患についての知識が身についたと思います。

作手診療所では作手地域に住む人たちにたいして少ない資源の中から適切な医療を行っていくことや患者さんとの信頼関係の作り方などを教わることができました。

名郷先生との抄読会に参加し、PECO を通して論文の読み方、批判的に読むことの大切さを学ばせていただきました。いままでの論文は苦手意識があり、あまり積極的に読もうとは思いませんでしたが、今回論文の読み方を教えていただき、少しずつでもいいから読む練習をしていこうと意識を変えることができました。

新城市民病院での地域研修では多くの先生に指導していただき、医師として非常に学びのある 1 か月となりました。特に指導医である宮国先生との振り返りでさまざまな症例に対しての指導や議論していただき多くのことを学ばせていただきました。熱心に指導してくださった総合診療科の先生方、宮国先生、外来看護師の皆様をはじめとして病院スタッフの皆様にも心より感謝申し上げます。この 1 か月の学びをこれからの医療に生かしていきたいです。